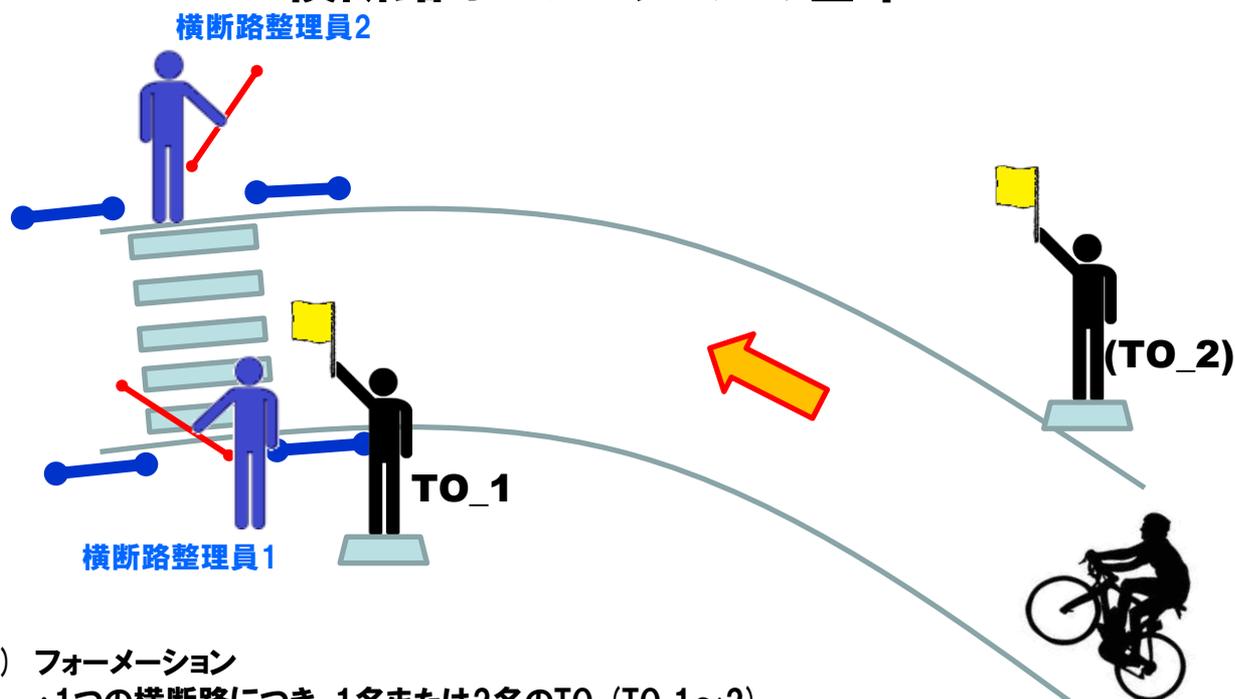


2024 WTCS 横浜大会

横断路オペレーションの基本



(1) フォーメーション

- ・1つの横断路につき、1名または2名のTO (TO_1~2)。
- ・TO_1は、横断路の競技コース上流側に立ち、選手の接近を横断路整理員に知らせて、横断路閉鎖を指示する。また、黄色手旗を挙げて、競技コース下流側の横断路へ選手の接近を連携する。
- ・TO_2は、TO_1の位置から競技コース上流側の視認性が良くない場合に配置され、TO_1と連携して、選手の接近を知らせる。
- ・TOの立ち位置は、TO_1は選手の接近を早く把握できて、かつ横断路整理員に見えやすく、声を掛け易い位置、TO_2は選手の接近を早く把握できて、かつTO_1が視認しやすく連携し易い位置。

(2) 必要備品

手旗 (黄色)、踏み台

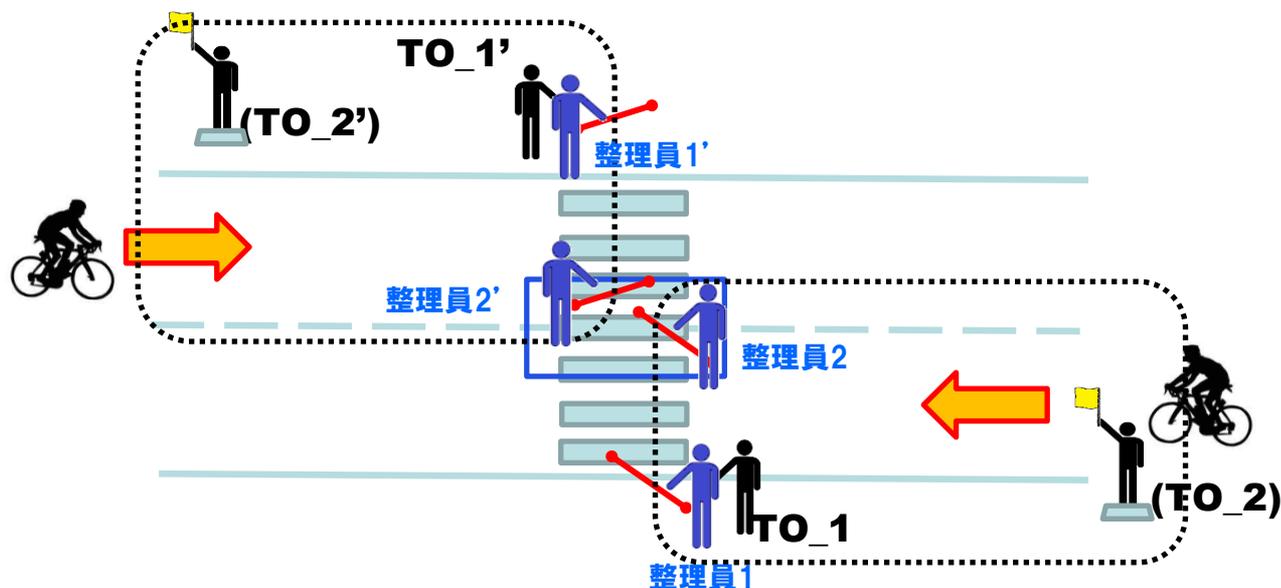
(3) オペレーション

- ① 各TO、横断路整理員の立ち位置は、競技コースの外側。特に、選手が接近していたら(見えたら)、絶対に競技コース内に入らないこと。
- ② TO_1は、競技コース上流側一つ前の横断路での選手接近に応じて、横断路内にいる人に速やかに横断するように断路整理員に促し、競技コース内の横断路に人がいないようにする。※ 事前に、合図の仕方を、TO同士で合意しておくこと。
- ③ 選手が接近していない場合、TO_1は、横断者が速やかに横断できるように 右側通行、或いは左側通行を促し、横断路上で横断者同士が交錯/滞留しないように横断路整理員に指示する。

(4) 応用編

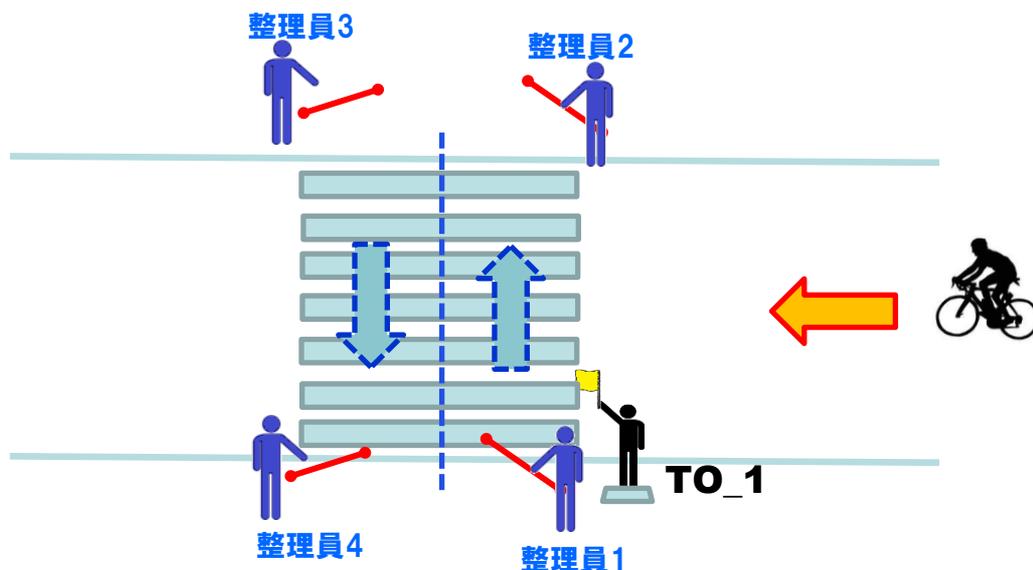
① 競技コースが往復で構成される場合。

道路の中央部に中州エリアを作り、2段階で横断するように誘導する。
往路と復路の横断路のオペレーションは、別々に、独立させる。



② 横断路の幅が広い場合。

横断路内を往復の一方通行にし、横断路の幅方向に2名ずつの横断路整理員配置にする。



2024 WTCS 横浜大会

リタイヤ (自己棄権、ラップアウト) 選手の対応

選手が担当エリア内で棄権した場合

- ① 当該選手からアンクルバンドを受け取り、**時刻**と当該選手の**レースナンバー**を確認する。
当該選手には、歩道から山下公園のリカバリーエリアへ戻るように伝える。
- ② 受け取ったアンクルバンドは、チーフTOに引渡し、チーフTOは無線で本部へ**リタイヤ情報(レースナンバー、時刻、リタイヤ理由)**を連絡する。
- ③ チーフTOは、各レース終了後に受け取ったアンクルバンドを競技本部(KnTUテント)へ届ける。